

上田仮説サークルニュース		7月例会	2014. 7号
編集責任 遠藤 裕		発行2014. 8. 23	
〒 383-0041 中野市岩船 426-3 サングァーデン中野 B-G TEL 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115			
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 長野工業高校 TEL 026-227-8555			

7月26日(土) 上田中央公民館 3F第1・第2学習室
午後 3:00 ~ 6:30



参加者数 5 名
資料総ページ 8 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 渡辺規夫さん, 北村知子さん, 池田みち子さん, 遠藤裕

はじめに 7月例会の参加者は5名。

レポートは、知子さんから「ミョウバン石を求めて」の発表がありました。「ミョウバン石の焦電気性」の実験を実演。さらに西村寿雄さんの<ミョウバンとあそぼう>というプランを紹介してくれましたが、これはサークルで体験講座として体験できると思います。

渡辺さんは『牧衷講演記録 第9集』を出版され、サークルで紹介。

池田さんは「市村アイデア賞」の応募案内のチラシを紹介してくれました。公益財団法人新技術開発財団が「将来の技術立国を担う少年少女に、観察力を高め創造力を発揮し自ら工夫し創り出す体験をする機会」として実施。

終了後、夢庵で夕食。



1. 発表資料

① サークルニュース 6月例会 遠藤 裕 (4ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 5月例会 遠藤 裕 (4ペ)
- ② 今月の旅行(屋久島) 増田伸夫さん (12ペ)
- ③ 物理実験 気導音と骨導音 あの鐘を鳴らすのはあなた 渡辺規夫さん(2ペ)
- ④ 《DVD力は時間と一緒にたらく》による授業アンケート 渡辺規夫さん(3ペ)
- ⑤ 熱の問題の解き方一覧 渡辺規夫さん(1ペ)
- ⑥ 波動の基本性質の問題の解き方 渡辺規夫さん(2ペ)
- ⑦ 戦後精神とは何か 補論 渡辺規夫さん(7ペ)
- ⑧ <<力と運動>>第2部 北村知子さん(19ペ)

② 牧衷講演記録 第9集 渡辺規夫さん

待ちに待った『牧衷講演記録 第9集』が出版されました。

編集者である渡辺さんは読者に「多くの方がこの講演から学び取り、それぞれの課題解決のヒントとしてくれることを期待してこの本を出版します。」と書いています。

後書きで、渡辺さんは「牧衷さんの話は聞くたびに啓発されます。現在の教育の現状、政治の現状を考え、何をしたらいいかについての指針をこの講演記録から読み取って生かしていただければこんなうれしいことはありません。」と述べています。特に、自発性と自主性の違いが述べられている第1部の〈自発性の組織論〉は、授業で自発性を引き出す授業としての仮説実験授業の考え方にも共通するものがあり、「現在の多くの教育問題を解決できる考え方」として渡辺さんは強調しています。

<内容>

第1部 仮説実験授業の基本思想

1. 自発性の組織論
2. 教室の統合をどう考えるか 公概念の再検討
4. 山路敏英さん退職祝賀会における挨拶
5. 教師を信頼する方が先
6. 仮説実験授業研究会の歴史

第2部 社会の見方・考え方

7. 現代民主主義と近代民主主義はどう違うか
8. 憲法の争点—2つの国家観
9. 沖縄基地問題をどう考えるか—戦略を間違えると必ず負ける
10. 戦後精神とは何か
11. 情勢分析のしかたをどう身につけたか
12. 自由と平等から情勢分析する—情勢分析持論—
13. 書評 中国の森林再生

——— <上田仮説出版の広告のページ>より

仮説実験授業と牧衷運動論シリーズ

- | | | |
|--------------|---|------------------|
| 牧衷連続講座記録集 | 1 | |
| 牧衷連続講座記録集 | 2 | —授業論と運動論— |
| 牧衷連続講座記録集 | 3 | 歴史研究と現状分析 |
| 牧衷連続講座記録集 | 4 | ネイション概念の再検討 |
| 牧衷集中講義 | 5 | 運動論と仮説実験授業 |
| 牧衷さんの哲学を学ぶ会 | 6 | 民族問題と学校教育の再編成 |
| 仮説実験授業と牧衷運動論 | 7 | 学生運動と仮説実験授業の源流 |
| 仮説実験授業と牧衷運動論 | 8 | 人間関係論と仮説実験授業 |
| 牧衷講演記録 第9集 | | 自発性にもとづく授業・教育・運動 |

(牧さんの講演記録集の出版は10年ぶりだそうで、今回は第9集。すごい量の講演記録です。テープ起こしから編集までものすごい労力が必要な仕事だと思います。自分の考え方を磨く素晴らしい参考書として、多くの皆さんに読んでいただけることを願っています。 エドワ)

③ ミョウバン石を求めて 北村知子さん（4ペ）

実物を知らずにミョウバン石拾い出かけたときのレポート。

大阪の西村寿雄さんから連絡があり、万座へミョウバン石を拾いに行くことに。一緒に行ったのは西村先生、運転手（秀夫さんのこと）そして知子さんの3人。3人ともミョウバン石の実物は知らず、万座の湯畑の木道のまわりでミョウバン石かもと期待を抱かせる、マグマ由来でなさそうな石を何個も拾う。古い旅館やホテルでミョウバン石のこと知っているかもしれないということで聞くことに。湯ノ花旅館のご主人からこのあたりの温泉はみんなミョウバン成分がとけているというお話し。ミョウバン石はこれだ、という決定的な事実は分からないものの、なんとなくミョウバン石を拾えたという妙な自信を持って次の目的地へ。

ミョウバン石の鑑定は、下仁田自然史館（自然学校）の先生方に。生のミョウバン石を知っている人は誰もいなかったようですが、『地学事典』のコピーを読みながらこんな特徴が、と実物と一致させていく手法はさすが。「強い焦電気性を示す」ってなんだろうねということで、早速調べて試してくれた。ミョウバン石をガスバーナーであぶり、ちょっと冷めたところでティッシュを千切った上に持っていくと、見事ティッシュが吸い付いていく。静電気の反応と同じ。

今回、ミョウバン石の実物を知らず、これかな～と当たりをつけて拾ったのがおもしろかった。西村先生に誘われなかったら、いく機会も知る機会もなかったので、誘ってもらえて感謝しているとのこと。

<知子さんの「ミョウバン石の焦電気性」の実験>



（以前、渡辺さんから戸隠でミョウバンがとれるというお話しうかがっていましたが。でも実際にミョウバン石を見たことのある人は少ないかもしれません。昔は日常生活で利用していたと思われます。ミョウバン石は、身近なものから科学に迫る教材として可能性がありそうです。 エンドリ）

あとがき 長工は来週（8/25）から授業が始まります。やはり長いようでいてあっという間に夏休みが終わってしまいました。それでも、この夏休みは板倉先生の講演が聴けたこと、川崎の「たのしい授業体験講座」に参加できました。板倉先生の講演を聴く前に、7月例会で渡辺さんから資料としていただいた「理科教育の変遷史」（1977.9.16 第9回理科教育研究集会）を読みましたが、理科教育の歴史の中での仮説実験授業の位置づけがわかり、とても参考になりました。



来週からの授業にがんばります!!

(エンドウ)

★ 今後の予定 ★
9月27日(土)
10月25日(土)
11月 調整中

<板倉講演>

北信越理科教育研究会長野大会 8/5、会場：信大繊維学部）で、長野県では何年かぶりに板倉聖宣先生の講演がありました。（お元気なご様子で、寒剤の実験を例に、お話をお聞きすることができました。）

